

前回筆者が担当した編集後記(2007年5月号)に引き続き、特定健康診査について触れてみます。腹囲や判定値の再考などが求められていますが、まずは『標準的な健診・保健指導プログラムの確定版(平成19年4月)』に基づいてスタートすることになります。本誌の増刊号(「メタボリックシンドローム健診検査技術マニュアル」)も参考になるものと思います。この健診ではいくつかの重要なことがあります。それは検査値の信頼性の確保と保健指導プログラムによる指導内容です。前者は検査前手順、検査手順、検査後手順の適正な実施です。健診領域全体では、特に検査のトレーサビリティの確保や、精度管理による質の維持など、今まで以上に検査についての信頼性確保の努力が求められます。後者は保健師などの人的パワーにも限界がありますが、いかに対象者に本気に対応していただけるかです。そのためのモデルがいくつか報告されています。内臓脂肪の減量と体重の減量に効果的と思われるプログラムを紹介してみます。それは90日の減量プログラムです。そのポイントは①減量目標は体重の5%を90日で、そして1日50~100g減、②体重計(100g単位が計れる)で1日2回(朝と晩)のチェック、③これらを記録する、④体重減がないときはその理由をつけてOKとする、⑤頑張らないこと、でも簡単にあきらめないこと。スタディでは30~40代のメタボ診断確定者104名に対して、同意の得られた53名で実施したところ、90日後の成果は、メタボ解除が32名(64%)、解除あと一歩が11名(22%)、解除失敗が8名(16%)ということでした。少数の担当で大人気の対応ができるような仕組みが必要になりますし、内臓脂肪の減量をサポートするさまざまな介入方法の開発が今後の大きな課題になるでしょう。

さて本号ですが、臨床検査の最新情報が満載です。「病気のはなし」の「インフルエンザ」は、時節柄効果的な情報になります。「脂肪肝」の治療や改善には、アルコール・食事・運動がポイントになります。「技術講座」の「輸血検査自動機器の精度管理」では、血液製剤の質保証として、一貫した精度管理システムの必要性がわかります。「臨床医からの質問に答える」の「基準範囲の決め方」は、算出手順の基本的な内容と設定時の留意事項が解説されています。「Laboratory Practice」の「糖尿病チーム医療における臨床検査技師」は、糖尿病チーム医療の一員としての参画例です。今後はこのような仕事が増えていくものと思っています。

(桑 克彦)

病気のはなし

脳梗塞——鈴木理恵子、他
皮膚癌(悪性黒色腫を除く)——帆足俊彦

技術講座

自動血球分析装置におけるヒストグラムの見方——近藤 弘、他
ノロウイルス迅速抗原検査——田中智之、他

オピニオン

検査技師の医療を通しての社会貢献——飯田悦夫
疾患と検査値の推移

クッシング症候群とコルチゾール——小田桐恵美
ワンポイントアドバイス

臨床検査技師の感染対策

2. ワクチンによる感染予防策——森屋恭爾

Laboratory Practice

生理：脳波検査のステップアップ・4

脳波の導出法：原理と局在決定——前川敏彦、他
病理：内部精度管理・3

免疫染色の精度管理——鈴木 舞、他
生化学：LPL 活性の測定の酵素法——今村茂行

血液：PT 正常で APTT 延長の症例に遭遇した
場合にするか——小宮山豊、他

微生物：MRSA の保菌調査——大塚喜人
臨床医からの質問に答える

HIV 抗体検査の非特異反応——上田一仁

私の一押し免疫染色/一般検査室から 私の一枚/
ラボ・クイズ/トピックス/他

ラボ・クイズ正解者

第35巻13号(2007年12月号)

花田妙子(函館市)/佐藤美砂(仙台市)/信
夫和利(登米市)/大塩奈美(古河市)/山口
剛(木更津市)/田丸盛夫(川口市)/雨宮三
枝子(東京都)/池田文雄(東京都)/千野秀
教(東京都)/小泉祐子(東京都)/坂保力
(安曇野市)/一柳富久美(岐阜市)/榊間利
政(岐阜市)/沢井真央(富山市)/田中浩平
(富田林市)/升田八重(枚方市)/石橋瑠美
(倉敷市)/有馬広海(北九州市)

●編集委員

菅野 治重
(編集主幹)
伊瀬 恵子
桑 克彦
曾根 伸治
高木 康
手島 伸一
永江 学
矢富 裕

(五十音順)

検査と技術

2008年2月1日発行(毎月1回1日発行)

1部定価 1,260 円(本体 1,200 円+税 5%)

年ぎめ予約購読料 19,450 円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優
☎113-8719
東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713
ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03)3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 ㈱アイワード (011)241-9341
広告申込 ㈱東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。

JICLS ㈱日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 小藤・山本・渡邊・小松原)